

# とちぎ市議会だより

第29号  
2016.11.18



**紅**  
がんばれ!

**白**  
がんばれ!

P16に写真の説明

特集	
<b>27年度決算審査</b>	2
9月定例会で決まったこと	4
一般質問	5

常任委員会	13
討 論	15
議案等審議結果	16
活動・お知らせ	17

# 各会計決算を認定



市長は、翌年度の予算を決める3月定例会までに、前年度の決算について、議会の認定を受けなければなりません。

皆さまの納めた税金が適正に使われたかどうか、4つの常任委員会がそれぞれ2日間、委員会を開催して審査しました。（各常任委員会の審査概要は13、14ページ）

1年前と比べてみるとどうかな？



## 歳出

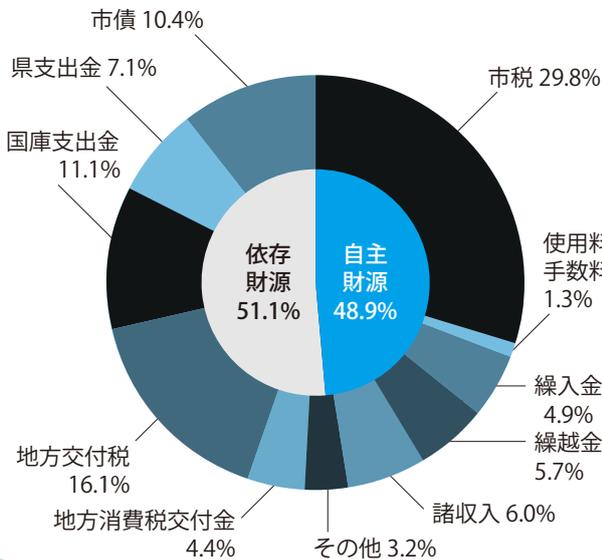
	平成27年度	平成26年度	増減率	
一般会計	663億9,886万円	649億3,567万円	2.3%	
特別会計	国民健康保険	210億1,234万円	187億5,548万円	12.0%
	後期高齢者医療	16億5,698万円	16億4,805万円	0.5%
	介護保険（介護保険勘定）	130億6,233万円	128億4,103万円	1.7%
	介護保険（介護サービス事業勘定）	5,133万円	4,238万円	21.1%
	下水道	49億9,912万円	46億9,045万円	6.6%
	農業集落排水	3億5,179万円	3億3,317万円	5.6%
	医療福祉モール	4,707万円	5,128万円	▲8.2%
	千塚上川原産業団地	5億2,335万円	10億2,692万円	▲49.0%

※1万円未満切り捨て

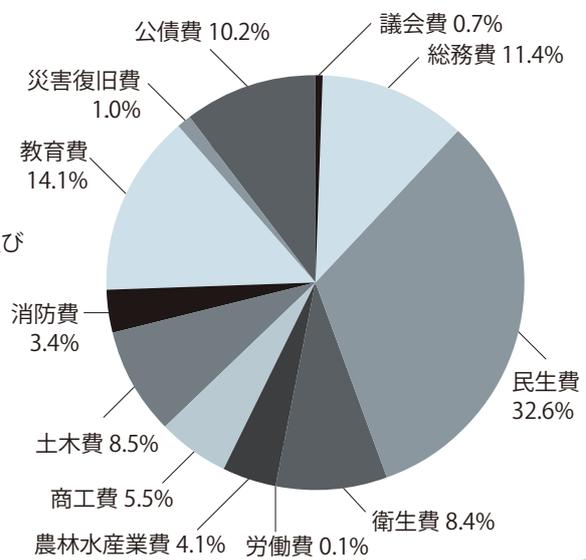


一般会計の内訳は？

## 歳入 703億9,850万円



## 歳出 663億9,886万円



# 平成27年度の

## こんなことにお金を使いました

### 出会い～住まい トータルサポート事業費 960万円

スマホ用HP「憧れのトチギーノ」を開設。婚活イベントには約100名が参加しました



### UIJターン 促進事業費 1,008万円

東京駅近くで「トチギーノ大同窓会」を開催。約80人が参加しました



### 藤岡地域統合保育園 整備事業費 6億2,616万円

4園を統合した「藤岡はーとらんど保育園」の整備が終わり4月に開園しました



### 栃木地区病院統合 再編事業費 9億5,552万円

とちぎメディカルセンターの施設整備等に対して支援しました



### 農業後継者婚活 サポート事業費 30万円

40人が参加、郷土料理等でおもてなしを受け、7組のカップルが誕生しました



### プレミアム商品券 事業補助金 1億1,046万円

発行総額6億円、プレミアム率20%の商品券事業に対して補助しました



### 小学校普通教室等 エアコン設置事業費 3億8,271万円

エアコン未設置の12校に設置、市内全校の普通教室に設置が完了しました



### 中学校武道場 整備事業費 1億3,772万円

栃木南中学校の武道場の改築工事を行いました(28年2月竣工)



### 「深川の雪」 高精細複製画製作事業費 782万円

「深川の雪」の製作により、喜多川歌麿の「雪」「月」「花」が揃いました



※1万円未満切り捨て

# 9月定例会で決まったこと(主な議案)

9月定例会で可決した議案のうち  
主なものについてお知らせします。

## 県内初 再生可能エネルギーと自然環境の 調和を図るためのルールを作成

(議案第107号)

自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例

栃木市は、これまでも太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及を推進してきました。

しかし、設置する場所を誤れば、かえって自然環境が壊れたり、景観が損なわれたりすることもあります。さらに、昨年の関東・東北豪雨のような大きな自然災害が発生した時には、土砂崩れなど、市民の安全が脅かされるような事態も考えられます。

そこで、本市の美しい自然環境や魅力ある景観、安全安心な生活環境を守りながら、再生可能エネルギーの普及を推進していくために、新しくルールを作り、調和を図っていくことにしました。

14頁 建設常任委員会

### 条例のポイント

#### ポイント① (保全地区)

市長は、土砂災害の危険がある区域や治水のために必要な区域などを「保全地区」として指定する。

#### ポイント② (事業の許可)

事業者は、保全地区内で事業を行うときは市長の許可を受ける。

#### ポイント③ (説明会の開催)

許可の申請を予定している事業者は、近隣住民等に対して、事業計画についての説明会を開催する。

#### ポイント④ (事業者の責務)

事業者は、景観を損なったり、被害が発生したりしないよう十分に配慮し、近隣住民との良好な関係を保つ。

また、事業を終了したときは、速やかに原状回復措置を講じる。

#### ポイント⑤ (土地所有者等の責務)

土地所有者等は、景観を損なったり、被害が発生したりしないよう、土地を適正に管理する。

また、事業を終了したときは、速やかに原状回復措置を講じる。

#### ポイント⑥ (適用)

29年4月1日以後に着手する事業から適用する。

## (仮称)いりふね・そのへ統合保育園の園舎建築工事が始まる

(議案第110号)

### 工事請負契約の締結

この議案が可決されたことにより、市は、工事請負業者と正式に契約を結ぶことができ、園舎の建築工事が始まることとなります。

契約金額 4億1688万円

契約相手方 館野・清田特定建設

工事共同企業体

13頁 民生常任委員会

15頁 討論



10月6日安全祈願祭で鍬入れをする鈴木市長

## 消防本部と消防団が互いに連絡を取りやすくするため、デジタル簡易無線機を購入

(議案第111号 財産の取得)

昨年の関東・東北豪雨では消防本部と消防団の間で情報を共有して連携することが難しかったという反省から、デジタル簡易無線機を配備する計画に至りました。

これにより、災害発生時の連携がしやすくなり、適切な対応が可能になると期待されます。

13頁 総務常任委員会

### 購入するデジタル簡易無線機の

#### 内訳

固定型	6台
車載型	1台
携帯型	271台



携帯型デジタル簡易無線機

## 人権擁護委員の推薦について 同意を頂きました

(議案第113号、114号)

### 人権擁護委員の推薦

大橋 登美子氏 (再任)  
黒川 弘照氏 (新任)

# 議会を見よう

議会をご覧いただく方法はいくつかあります。皆さんにあった方法をご覧ください。(次の定例会の日程は最終ページに掲載しています)

その1

## 傍聴席から見る

本会議が行われる議場や、常任委員会などが行われる会議室は、市役所の4階にあります。予約は不要です。入口で傍聴カードに住所・名前を書いてお入りください。議員と市長・部長との、緊張感のある質疑応答は、やはり議場で見るのが一番です。

その2

## ケーブルテレビ(112チャンネル)で生中継を見る

ケーブルテレビでは、本会議の一般質問の様子を生中継しています。傍聴にお越しになれない方は、ケーブルテレビで生中継をご覧ください。

その3

## インターネット(ユーストリーム)で生中継を見る

インターネットでは、本会議の初日から表決が行われる最終日まで全てを生中継しています。市のホームページからご覧ください。

その4

## インターネットで録画放送を見る

過去の本会議をご覧いただけます。一般質問の各ページにあるQRコードを読み取ると、簡単に録画放送のページを開けます。



### 市 政 に 対 す る 一 般 質 問



広瀬 義明 議員  
大樹

### 重度心身障がい者の方々にも現物給付方式の導入を

過去の一般質問において提案した医療費の現物給付方式(※1)のうち、こども医療費助成制度については、平成26年10月から中学3年生まで導入していただくことができた。子を持つ家庭からは負担が減ったと好評である。

しかし、より負担を減らさなければならぬ重度心身障がい者への医療費助成制度の導入については、財政的な理由から先延ばしとなっている。

最初の一般質問から3年が経過した。ぜひ、導入の決断を願いたい。

答弁 鈴木市長

### 導入に向けて準備を進める

現在本市で実施している償還払い方式(※2)による医療費助成

- 重度心身障がい者医療費助成制度現物給付方式導入について
- 栃木市消防事業について
- 栃木市上水道施設について

では、申請に向く労力が大変なご負担であり、現物給付方式の早期導入を求める声が多く寄せられている。

そこで、障がいをお持ちの方やその家族の方の負担を少しでも解消し、安心して暮らしていただけるように、現在、現物給付方式導入に向けて、財源の検討や関係機関等との調整をしている。近い将来に導入できるように準備を進めたい。

なお、現物給付方式に移行した場合には、県の補助金の減額、国の負担金減額措置のペナルティにより、市の財政負担が増すことになるので、県の補助金及び国の負担金を減額しないように、引き続き要望していく。

(※1) 現物給付方式  
受給券を医療機関の窓口に表示し、一定の自己負担額のみを支払う方式

(※2) 償還払い方式  
医療機関の窓口でいったん医療費を支払った後、市の窓口で医療費助成の申請をする方式



入野登志子 議員  
公明党議員会

**ダブルケアの相談ができる  
総合的な窓口が必要ではないか**

少子高齢化や晩婚化が進む中、女性の出産年齢が上がったことなどから、育児と介護を同時に行うダブルケアに直面する女性が増えている。

子育てと介護の相談窓口はそれぞれにあるが、両方に直面する当事者に寄り添いながら相談できる総合的な窓口も必要ではないか。

**答弁** 奈良部保健福祉部長

**全ての相談に対し、ワンス  
トップで対応可能な仕組み  
を構築していく**

国は、複雑かつ複合的な課題を抱える世帯等に対応するため、昨年9月に「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」を示し、モデル的事業として「多機関の協働

- 障害者差別解消法施行後の栃木市の取り組みについて
- ダブルケア（育児と介護）の支援について
- マイナンバーの普及について

による包括的支援体制構築事業」を創設した。

本市では、高齢者を支える地域包括ケアシステムの包括的な考え方を、高齢者だけではなく、障がい者、児童、生活困窮者など対象に発展・拡大する「新しい地域包括支援体制の確立」を目指しており、全国に先駆けて、国のモデル事業に取り組むこととし、既に国から内示を受けている。

このモデル事業は、既存の相談機関の横断的な連携体制を強化して、複合的な課題を抱える世帯等に対して包括的に支援を行うものである。

モデル事業を実施する中で、育児と介護のダブルケアも含めた全ての相談に対して、ワンストップで対応が可能となる仕組みを構築していきたい。



**市 政 に 対 す る 一 般 質 問**



針谷 育造 議員  
栃木新風会

**市民の声を聞き、最善の道を**

南摩ダム建設が決定し、市民への説明もまま県南広域水道事業が進むことになる。

水道は市民生活に欠かすことが出来ないもので、事業に参画すると、市の水道事業に大きな影響が出る事が予想される。

情報を公開しながら、市民参加と協働で最善の道を見つけるべきではないか。

**答弁** 鈴木市長

**市民生活に影響が及ぶ可能性が出てきた場合には説明等をする**

思川開発事業の直接の参画者は県であり、同事業の継続が正式に決定されたところではあるが、これをもって直ちに市の水道事業に影響が及ぶという関係にはない。

- 農業ビジョンの策定について
- 思川開発事業について
- とちぎメディアカルセンターについて

市民の生活に直接影響を与えたり、与える可能性が大きな事柄については、そのことを市民にお伝えしたり、相談をしたり、理解を求めたり、場合によっては取りやめたりするということは当然のことである。

しかし、今行われている思川開発事業については、現時点ではまだ、そのような事柄とは言えない。もし、そのような事態になることが可能性として出てきた場合には、市民や議会への説明等をしなければならぬと考えている。



現在は100%地下水を使用している  
(園部町の第4水源)

本市の小中一貫教育の進め方は



長 芳孝 議員 黎明

本市では、学区の見直しや小規模特認校の設置により、不登校やいじめ、中一ギャップ等の防止・解消に取り組んでいる。

一方、那須塩原市や小山市では、来年度から義務教育学校(※)を取り入れる。義務教育学校ならば6・3制から4・3・2制に変えるなど、更に思い切った教育ができると思うが、本市の方針は。

答弁 松本教育部長

来年度から、全中学校区で小中一貫教育をスタートさせる

本市は、平成23年度から姉妹校化事業により小中一貫教育の土壌を作ってきた。この事業を通して小・中学校の教職員が協力して学習指導や児童生徒指導に取り組むようになり、また、学校行事等を

- 都賀地域の産業団地の開発について
- 教育行政について
- うち介ゆるキャラグランプリについて
- うちぎ秋まつりについて
- 農業政策について

通して、児童生徒間の交流も深まった。

そこで、更なるステージアップを図るため、平成29年度から小・中6・3制による学校制度を維持しつつ、全中学校区で小中一貫教育をスタートさせることとした。

なお、義務教育学校については、小・中両方の教員免許取得の促進や、一貫校としての効果的な教育課程の研究などが課題であり、また、学校統廃合を含めた一体的な施設整備も必要であるため、学校適正配置と併せて慎重に研究していく。

※義務教育学校  
学校教育法の改正により、本年4月から制度化された学校。  
9年間の義務教育を一貫して行い、学年の区切りを5・4や4・3・2など柔軟に変更できることや、学年の範囲を超えて独自の教育課程を編成できることが特徴。  
なお、独自の教育課程ゆえに転入学時の負担が大きいこと、教員は原則小・中両方の免許状が必要なたため人材の確保が困難なことなどの課題もある。

市 政 に 対 す る 一 般 質 問



本市独自のフードバンク事業を実施できないか



小久保かおる 議員 公明党議員会

フードバンクとは、包装が破れたり、表示ミスがあったりして、品質に問題がないにもかかわらず破棄される食品を企業や個人から譲り受けて、生活に困窮している人や福祉施設等に無償で届ける取り組みである。

福祉的な面だけでなく、環境面でも効果がある。

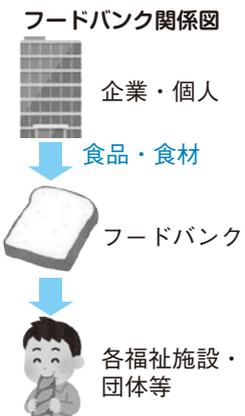
そこで、本市独自のフードバンク事業を実施できないか。

答弁 奈良部保健福祉部長

関係機関と連携し研究していく

本市では、社会福祉協議会において、平成24年度から緊急一時支援事業として、食糧支援を行っている。この事業は、一時的な生活

- フードバンク事業について
- 子ども食堂について
- 防災対策について



今後、社会福祉協議会等の関係機関やボランティア団体とも十分連携を図りながら、フードバンクの導入について研究していきたい。

フードバンクは、NPO法人等により全国的な広がりを見せており、生活困窮者の方々への支援だけでなく、食品ロスの削減といったメリットもあるが、その一方で、寄付された食品の保管場所や管理、支援者への提供方法、さらには健康被害等の課題もある。



大川 秀子 議員  
黎明

### シビックセンターの具体的な計画は

栃木駅北口に、国の事業である合同庁舎整備が具体的に事業展開されるに至った。合同庁舎整備と共に、行政機能を持つシビックセンターの整備が行われると思われるが、国の事業と合わせて具体的な計画が必要ではないか。今後の予定と進め方について伺う。

答弁 鈴木市長

### 合同庁舎に合わせ平成32年度の完成を目指していく

シビックセンター等の規模は、4322平方メートルの敷地に栃木駅北口駅前広場や合同庁舎敷地と連携する交流スペースや歩行者が滞留できる「みち型広場」などのシビックコア地区整備計画で定める施設の確保を行い、敷地の有



栃木駅北口の市有地

●栃木駅周辺整備計画について  
○児童虐待への対応について  
○環境問題への取り組みについて

効活用とともに、地区の魅力や賑わいが図れるような民間施設を誘致したい。

シビックセンター等の民間施設の誘致時期については、国による合同庁舎や敷地周辺の基本設計ができあがり、ある程度の姿かたちが見えてくる平成29年度に、その概要を含めた整備方針を周知して事業者を公募し、合同庁舎に合わせた平成32年度の完成を目指していきたい。

## 市 政 に 対 す る 一 般 質 問



千葉 正弘 議員  
大樹

### 劣化が進む市内道路標示への対応と管理規定構築の考えは

市内道路標示は、消耗や劣化が激しく多くの地域で危険と思われる場所が点在している。消耗や劣化の要因としては、耐用年数を超える交通量、突発的な事故、道路環境等が考えられるが、明らかに維持修繕対応が遅れている状況にある。

今後の対応や管理規定の策定についてどのように考えているのか。

答弁 鈴木建設水道部長

### 管理規定を設けるとともに計画的に維持修繕を推進していく

市内各所で経年劣化が進んでおり、道路標示等の修繕が、十分でない状況であると認識している。今後の対応としては、幹線道路や通学路等を中心に、職員による巡

○公共施設等総合管理計画（公共施設のあり方ガイドライン）について  
○栃木市の小・中学校に於ける無線LAN普及について  
●市内道路標示の維持修繕推進について

視や、市民の皆様からの通報により、緊急度や危険度などを判断し、順次修繕工事を実施していく。また、要望箇所などは、まとめて工事発注することで経費の削減を図り、限られた予算でより多くの修繕工事を実施し、通行車輛や歩行者等の安全確保に努めていきたいと考えている。

職員による巡視等において統一的な修繕判断が出来るよう、管理規定を設け、道路標示の維持修繕を計画的に推進するとともに、国・県・警察等の関係機関との連携を図り、より一層の交通安全対策を講じていきたい。



大平中央小前の横断歩道



中島 克訓 議員  
新生クラブ

戦争の悲惨な記憶や平和の尊  
さをどのように後世に伝えて  
いくのが

戦後71年が経過し、普段の生活で戦争の話を身近に聞くことができなくなりました。平和教育のほとんどが学校教育に委ねられている中、戦争体験者から直接話を聞くことができる「戦争体験を聞く会」は大変意義がある。しかし、語り部の方々も高齢となり、継続していくには厳しい状況が予想されるが、今後の対策について執行部の考えを伺う。

答弁 赤羽根総務部長

「語り部」の登録や映像記録  
の作成を進めながら取り組  
むこと

本市においては、昨年度から「語り部」の貴重な証言を、映像記録



都賀公民館で開催された「戦争体験を聞く会」

○福祉避難所について  
●今後の平和教育について

としてDVDに残す取り組みを始めたところである。また、昨年度には、「戦後70年戦争体験文集」を発行し、学校等に配付したほか、貸出も行っている。

将来を担う子どもたちに、非核平和への理解を深めてもらうために、戦争体験を聞く機会は、大変有用であると考えているので、引き続き、「語り部」や「伝承者」の登録と併せて、映像記録の作成を進めながら、戦争の悲劇や核兵器の恐ろしさを風化させることのないよう、これまで以上に取り組んでいきたい。

市 政 に 対 す る 一 般 質 問



白石 幹男 議員  
無会派

子どもの貧困問題に対し  
早急な対策を

2014年1月に「子どもの貧困対策推進法」が施行された。推進法の第4条は、地方自治体の責務として「国と協力しつつ、当該地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」としている。また、「子どもの貧困対策大綱」では、「親から子への貧困の連鎖を断ち切る」として、教育支援・生活支援・就労支援・経済支援を挙げている。

子どもの貧困対策をどのように考えているのか伺う。

答弁 奈良部保健福祉部長

子どもに視点を置き総合的な  
貧困対策事業の推進を図る

本市では、生活困窮者支援事業の中で、生活困窮世帯やひとり親

○水道事業について  
●子どもの貧困対策について  
○国民健康保険について

世帯、生活保護世帯等の子どもに対する学習支援事業を行っている。昨年度までは市内1カ所で中学3年生を対象に、本年度からは市内3カ所で全学年を対象に実施しており、今後も引き続き、学習支援事業の充実を図っていく。

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることがなく、また、貧困が世代を超えて連鎖することがない社会を目指して、庁内の関係課、さらには関係機関・団体と幅広く連携しながら、子どもに視点を置いた、より実効性の高い本市独自の「子どもの貧困対策推進計画」を策定し、総合的な貧困対策事業の推進を図っていきたい。





大谷 好一 議員  
誠心

子どもたちのために基礎学力保障条例について検討すべきでは

市長、教育委員会、小・中学校、議会、保護者、地域の団体等の責務と役割を明確にし、基礎学力の習得の保障に関する施策を推進することにより、基礎学力をより身に付けさせることができると考える。本市でも、「基礎学力保障条例」について検討すべきではないか。

答弁 松本教育部長

現段階では地域ぐるみで学力向上に関わる体制を築くよう努める

本市では、児童生徒の学力向上に対する施策を、学校だけではなく、とちぎ未来アシストネットを活用し、保護者や地域との連携・協力を得ながら進めている。

●基礎学力向上に対する取り組みについて  
○とちぎクリーンプラザで製造する溶融スラグの有効利用について

また、平成29年度には、県内初となる、コミュニティ・スクールの全校一斉導入を予定している。これまでにコミュニティ・スクールを実施した学校では、児童生徒の「学習意欲が高まった」「学力が向上した。」との成果があげられており、本市においても学力向上への効果が期待できると考える。

条例については更に研究を深めるとともに、現段階ではコミュニティ・スクールにおける学校運営協議会委員による協議等を活性化させ、地域ぐるみで児童生徒の学力向上に関わる体制を築くよう努めていく。



市 政 に 対 す る 一 般 質 問



関口孫一郎 議員  
黎明

老朽化した石川排水機場の改修整備計画の見通しは

渡良瀬遊水地北側に設置されている石川排水機場は、施設の供用開始から40年以上が経過し、特に排水ポンプは製造から60年以上が経過しているため、排水能力は著しく低下している。

昨年の関東・東北豪雨以後、地元土地改良区からは施設の更新を強く要望されているが、改修計画の見通しはどうか。

答弁 茅原産業振興部長

早期の事業実施に向け施設規模や事業費の算定を行う予定である

部屋南部地区にある石川排水機場は、施設の老朽化に伴って管理負担が増大している。

近年、集中豪雨が多発する中、

●渡良瀬遊水地周辺の排水機場及び排水樋門整備について  
○選挙における投票率について  
○栃木市の「鳥、花、木」について

石川排水機場の更新整備は、大変重要な課題である。地域農業の維持増進だけでなく、市民生活の安全・安心を将来に渡り安定的に確保していくために、平成30年度から「農業水利施設保全合理化事業」により更新整備ができるよう、県と国に対して要望をしている。

また、市としては、今年度に予算を計上し、現況水量や洪水解析及び排水機場施設の基本構想、基本計画策定作業により、施設規模や事業費の算定を行う予定である。なお、事業実施については、平成30年度から平成34年度までの5年間、事業主体は県営を予定している。



石川排水機場



青木 一男 議員  
大樹

### 子どもたちが遊べる 屋内遊戯施設の充実を

県内には、全天候型の子どもの屋内遊戯施設「キッズピアあしかが」や「キッズランドおやま」などがあり、両施設の遊具は、子どもたちの成長に合わせたコーナーが設けられ、連日のように賑わいを見せている。利用者の間では多くの交流や情報交換ができるなど95パーセントの方が満足し、地域の商業施設の活性化にもつながっているとのことである。栃木市にも同じような施設があれば、子育て支援に大きくつなげられると思うが、執行部の考えについて伺う。

【答弁】白井 ことも未来部長

### 特色ある施設機能を検討し 立地場所などの課題を整理 しつつ

### ○スポーツ振興に力を入れ ●子育て支援に力を入れる

市内には、民間を含め6つの児童館が設置され、多くの方に利用されているが、どの施設も比較的小規模で、体を思い切り動かして長時間自由に遊べる遊び場となっていない。



このようなことから、大型屋内遊戯施設の整備について、市民の皆さまから意見をいただいている。施設を整備することは、子育て世代からの強い要望であるとも、にまちづくりの一つとしても重要であると考えている。

整備に当たっては本市独自の特色ある施設機能を検討すると共に、ふさわしい立地場所、必要となる整備費用・管理運営方法等の課題を整理し、施設整備を目指していきたい。

## 市 政 に 対 す る 一 般 質 問



針谷 正夫 議員  
黎明

### 地域支え合い活動を どのように推進していくか

「地域支え合い活動推進条例」が10月から施行され、高齢者世帯や障がい者の個人情報や自治会等に提供できるようになり、見守り活動に役立てることができるとのこと。

自治会等の実施団体への十分な周知が必要になるが、見守り活動を推進していくための方策、また、今後の目標値とスケジュールについて執行部の考えを伺う。

【答弁】奈良部保健福祉部長

### 標準的なモデルを策定し 活動を推進していきたい

既に地域での見守り活動を実践している自治会などに協力いただき、モデル的に自治会での取り組みを進めていきたい。モデル的な自治会においては、見守り対象者

- 畜産農家と中小農家の支援策に力を入れる
- 地域ぐるみでの見守り活動の推進に力を入れる
- 災害時の応援協定につなげる

の把握や地図作製、見守り活動の組織体制や連絡体制、具体的な活動の実施方法などの検討を行い、それらの取り組みを検証して、自治会における活動の標準的なモデルを策定したいと考えている。

また、今後の目標値としては、今年度については、地域包括支援センターが設置してある8カ所において、それぞれ1カ所程度のモデル自治会を設定し、平成29年度には、25カ所程度、平成31年度までには、50カ所程度の自治会において見守り活動に取り組んでいきたいと考えている。



地域支え合い活動推進講演会を開催しました (10月1日)



松本 喜一 議員  
無会派

### 栃木市総合運動公園体育館に エアコン整備を

栃木市総合体育館は、メイン競技場、サブ競技場共に多く市民に利用されている。建設から長い年月が経過しているため、耐震補強工事を行い、東日本大震災発生時には、一部の天井が崩落し、改修が行われた。

利用者からは、夏は暑く、冬は寒いとの意見を度々耳にするため、メイン、サブ両競技場にエアコンの整備が必要と考えるが、執行部の考えを問う。

答弁 鈴木建設水道部長

### 空調施設の整備について費用 対効果を含め検討していく

栃木市総合運動公園体育館は、各種競技に広く利用され、昨年度は、19万人以上の利用があった。



栃木市総合運動公園体育館

●公共施設整備について  
○各地域で開催している体育祭への補助金について  
○とちぎ秋まつりを盛り上げるために財政的な充実を

また、平成34年度に開催が予定されている国体のハンドボールの競技会場になっていくため、給排水設備の改修や床の張り替えなど計画的な改修が必要と考えている。このことから、市内全ての公園施設の現況調査を実施し、来年度「公園施設の長寿命化計画」を策定し、体育館を含めた公園施設の改修について検討を行う予定である。これに合わせ、当体育館のエアコン設置を含めた空調施設の整備について費用対効果を含め検討していきたい。

## 市 政 に 対 す る 一 般 質 問



大武 真一 議員  
無会派

### 施設のバリアフリー化や 駐車料金の見直しの状況は

市民の生命を守り、健康をサポートするとちぎメディカルセンター「しもつが」には、来院者への親切・丁寧な対応や気配りが望まれている。

そのような中で、障がいのある方への配慮として病院施設のバリアフリー仕様への変更、駐車料金金の見直しは、どのような状況になっているのか。

答弁 赤羽根副市長

### 施設のバリアフリー化、 駐車料金の見直しが行われた

障がいのある方への取り組みについては、専用の駐車スペースを設けるほか、出入り口の段差解消や車椅子のまま乗れるエレベーターを設置するなど、バリアフリー

●とちぎメディカルセンターの状況について  
○栃木市総合運動公園事業の運営について  
○スポーツ推進の基本的な考え方について  
○栃木市公共施設の整理・統合の課題について

化が進められた。

また、開院後には、障がいのある方から待合室が狭いことや車椅子の待機スペースが無いことなどのご意見をいただき、建物の構造的な部分については、すぐに改修は出来ないため、案内表示や混雑時の誘導により対応している。

駐車料金については、外来患者と面会者や見舞者との料金に差があり、料金の上限も無かったことから、市から見直しの要請をし、料金は全て統一され、最大料金は500円となった。



とちぎメディカルセンター「しもつが」の駐車場案内表示

# 常任委員会の審査内容

## 総務常任委員会

### 議案第111号

#### 財産の取得について

##### 【デジタル簡易無線機の購入】

**質** 携帯型デジタル簡易無線機の配備先は

**答** 栃木市消防団栃木方面隊に84台、大平方面隊に36台、藤岡方面隊に34台、都賀方面隊に24台、西方方面隊に28台、岩舟方面隊に22台を配備するほか、消防本部や消防署などに配備を予定している。

**質** 無線機配備によるメリットは

**答** 昨年の豪雨災害時には消防本部と消防団の連携が課題となった。デジタル無線機を導入することで相互通信が可能となり、災害時には現場の消防団員と消防本部署員との連携体制を構築することができる。それにより、適切な災害対応ができるようになるかと考えている。

**質** これまで使用してきた受令機の処分についてはどのように考えているのか

**答** 有効な通信機器の一つとして、

継続して使用していきたいと考えている。

### 認定第1号

#### 27年度一般会計決算

##### 【救急救命士養成事業費】

**質** 研修所への派遣人数は

**答** 年間計画に基づいて、毎年1、2名の職員を派遣しており、現在は、39名の救命士が現場で活動している。

## 民生常任委員会

### 議案第102号

#### 一般会計補正予算(第2号)

##### 【身体障がい者補助犬

##### 健康管理等費用補助金】

**質** 対象となる補助犬の種類と補助金額は

**答** 盲導犬、介助犬、聴導犬が対象となり、1頭当たり年額で3万6000円を補助限度額として考えている。

##### 【子ども食堂開設運営補助事業費】

**質** 栃木地域以外への広がりはあるのか

**答** 正式にやりたいという話ではないが、子ども食堂に関する問い合わせは数件あった。



子ども食堂ひまわり(城内町)

### 議案第110号

#### 工事請負契約の締結

##### 【(仮称)いりふね・そのべ

##### 統合保育園の園舎新築建築工事】

**質** 電気・機械設備・外構工事等を含めた工事の総額は

**答** 総額は約7億4800万円と見込んでいる。

**質** 園児の安全面に対する配慮は

**答** 転倒時の衝撃を和らげるために床を上げて空間を設けることや、ガラス飛散防止フィルムを張るなど安全面に配慮した設計としている。

**質** 藤岡は1とらんど保育園の園舎

建築工事と比較して坪単価はどうか

**答** 今回は約150万1000円、藤岡は1とらんど保育園は約151万9000円であった。

▼15頁 討論

### 認定第1号

#### 27年度一般会計決算

##### 【災害廃棄物処理事業費】

**質** 収集された災害ごみの量は

**答** 可燃ごみ約776トン、不燃ごみ約469トン、粗大ごみ約568トンであった。

### 認定第2号

#### 27年度国保会計決算

##### 【後発医薬品利用差額通知事業費】

**質** ジェネリック医薬品の普及率は

**答** 普及率は46・9パーセントであり、国の指針よりも若干下回っている。

**質** どのように啓発しているのか

**答** 保険証の交付時に啓発資料を同封している。

##### 【国保財政の健全化】

**質** 財政健全化のために、今後どのような取り組みをしていくのか

**答** 収納率の向上が基本になるが、データヘルス計画に基づき医療費の適正化も進めていきたい。

また、国保への加入や脱退などの資格管理についても適正に行っていくなど、総合的に取り組んでいきたい。

▼15頁 討論

産業教育常任委員会

認定第 1 号

27 年度一般会計決算

〔小学校洋式トイレ改修事業費〕

質 これまでの実施状況は

答 26 年度、27 年度に 3 校ずつ実施し、28 年度も同じく 3 校のトイレ改修を予定している。27 年度は、赤津小、大平中央小、栃木第三小の 3 校を整備した。

質 優先順位はどのようになっているのか

答 市内全ての小中学校の洋式化を計画しており、洋式化率の低い小学校から順に整備をしている。

〔国際観光まちづくり事業費〕

質 27 年度はどのような取り組みを行ったのか

答 大きく分けて 4 つの取り組みがあり、1 つ目は、外国人観光客 1 日市民パスポート券を発行したこと、2 つ目は、多言語案内看板を 32 カ所に設置をしたこと、3 つ目は、スマホに対応するために Wi・Fi 設備を 4 カ所に設置したこと、4 つ目は、江戸料理の開発を始め、食の PR をしたことである。

質 外国人の反応はどうか

答 外国人観光客 1 日市民パスポート券については、格安航空会社の機内にブックレットを置いてご案内したところ、今年の 4 月・5 月は 100 人を超える利用があった。

また、江戸料理については、モニターの方から非常にいいとの意見をいただいております、現在の約 50 品から更に増やして PR をしていきたいと考えています。



とちぎ江戸料理御膳 (イメージ)

建設常任委員会

議案第 102 号

一般会計補正予算 (第 2 号) 〔まちなか定住促進住宅新築等補助金〕

質 昨年度から始まった同補助金の申請状況はどうか

答 当初予算 3000 万円のうち、既に約 2950 万円を支出した。今年度は残り半年であるので、新たに 3000 万円を計上し対応したい。

なお、今年度は約 140 件申請があり、1 件当たり約 21 万円の補助となっている。1 件当たりの金額は昨年度とほぼ同様であるが、昨年度は 1 年間で 65 件だったのに対して今年度は既に約 140 件と、まちなかへの定住が進んでいると考えている。

議案第 107 号

自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の制定

質 当初の素案には無かった事業廃止又は発電事業終了に伴う原状回復措置に関する規定について、条文に明記した経緯は

答 パブリックコメントにおいて事業廃止や発電事業終了の場合には原状回復するという点について積極的に明示すべきという意見があり、条文を追加することとした。

質 約半年後の施行日までに着手する事業者もいると思うが、どのように対応していくのか

答 この半年間は事業者及び市民

に条例についてよく理解をしていたため、この半年間を有効に使い、特に事業者に対しては施行前でも積極的に内容を PR し、協力をお願いしていく。

再生可能エネルギーについては市としても推進しており、ルールに則って設置される設備については住民の方々にも理解をしていただきたいと考えている。

認定第 1 号

27 年度一般会計決算

〔道路橋りょう災害復旧費〕

質 被災した道路や橋の復旧の状況はどうか

答 全体で 150 カ所ほど被災しており、平成 27 年度においては予算の約 40% 執行し、現時点では 90% 以上の復旧が完了している。



太平山 随神門脇の土砂崩れ



土砂撤去後

# 討論

本会議の表決前に、次の議員が反対または賛成の意見を述べ、他の議員の賛同を求めました。

## 議案第110号

### 工事請負契約の締結

(仮称いりふねそのべ統合保育園舎建築工事)

**反対** 白石幹男議員

落札率は96・96%であったが、

全国市民オンブズマンは「落札率

95%以上は談合の疑いが極めて高

い」としている。

また、工事単価は、機械設備、

電気工事の費用を含めると、坪

150万円にもなり、非常に高い。

**賛成** 青木一男議員

震災復興や東京五輪の影響によ

る建設資材や人件費の高騰が続い

ている。さらに、耐震性の向上、

フリーフロアやガラスの飛散防止

フィルムの採用、床面の高上げな

ど、安全のための変更により建設

費が高くなったことは理解できる。

また、入札には、格付けA級な

ど一定条件を備えた者で構成する

5つの企業が参加しており、公

正、公平性も保たれたと考える。

**反対** 大武真一議員

堺市や大阪市など、主な工事の落

札率が80%台の市もある中、今回の

落札率は96・96%と高すぎる。競争

無〓無党派 大〓大樹 公〓公明党議員会

性確保の取り組みが不十分である。

## 認定第1号

### 27年度一般会計決算

**反対** 白石幹男議員

昨年9月の豪雨災害では、初動

体制の遅れなど問題があった。

また、保育関連では、規制緩和

により質が低下しないよう取り組

まなければならず、非正規保育士

が7割近くを占める現状を早急に

改善する必要がある。

教育関連では、子どもの貧困対

策である「就学援助制度」の利用

率が5・47%と全国平均の15%と

比べて低いので制度の周知徹底を

求める。

**賛成** 入野登志子議員

県内初のコミュニティFM「FM

くらら857」の開局、観光情報物

産館「コエド市場」のオープン、さ

らに「まちなか定住促進住宅補助制

度」創設や、空き家対策としての補

助制度創設など、喫緊の課題にもス

ピード感をもって対応してきた。

また、14億7100万円という

大きな決算額となった関東・東

北豪雨による災害復旧に対応した  
執行部の取り組みを評価する。

## 認定第2号

### 27年度国保会計決算

**反対** 白石幹男議員

財源不足を理由に国保税の引き上

げを強行し、一人当たり2万4000

円もの負担増となったが、歳入は当

初予算を下回り、収入未済額は17億

円を超えた。これは、年金生活者な

どが多くを占める国民健康保険が抱

える財政構造上の矛盾の表れだ。財

政状況を打開するために保険税を引

き上げるのは本末転倒である。

**賛成** 青木一男議員

税率の改正に当たっては、税率

を抑え、一般会計からの赤字繰入

をすることで財源を補った。

また、国保税の収納対策、国・

県等からの補助金等の受け入れ、

医療費の適正化対策等、歳入・歳

出とも適正に進めている。

## 認定第3号

### 27年度後期高齢者医療会計決算

**反対** 白石幹男議員

制度導入以来、既に4回の保険料

値上げが実施され、高齢者の生活を

圧迫する重大な要因となっている。

**賛成** 青木一男議員

保険料の収納対策や高齢者の健

康の維持増進を図るための健康事

業を継続的に行っており、さらに、

新規に人間ドック事業と後期歯周

病疾患健診事業に取り組みなど、

積極的に取り組んでいる。

**反対** 大武真一議員

後期高齢者診療は、検査や処置に

対する診療報酬が定額であるため、

粗末な診療が行われる可能性がある。

また、終末期医療にも問題がある

ことから、国に対し制度改革を求める。

## 認定第4号

### 27年度介護保険会計決算

**反対** 白石幹男議員

3年に1度の保険料見直しに

よって負担が増えた上に、今後は、

要支援1・2を介護保険から外し、

自治体が実施する地域支援事業に

新総合事業として組み込むなど、

介護サービスが大幅に削減される。

**賛成** 青木一男議員

保険料は、国の基準より低所得

者に配慮した設定となっている。

また、地域包括支援センターを直

営で運営するなど、保険者自らが介

護予防にも努め、保険料の上昇を抑



## ▶ 今後の活動に生かすため、先進地を視察

### 総務常任委員会

- 8月2日 滋賀県守山市  
「守山まるごと活性化プラン」  
8月3日 滋賀県草津市  
「草津市シティセールス」



栃木市のイメージアップに向けて（草津市）

### 民生常任委員会

- 8月23日 彦根愛知犬上広域行政組合（滋賀県）  
「斎場『紫雲苑』」  
8月24日 滋賀県近江八幡市  
「少子化対策」



斎場での火葬炉設備の視察

### 産業教育常任委員会

- 8月2日 静岡県沼津市  
「がんばる学校応援事業」  
8月3日 静岡県伊豆市  
「獣害対策と駆除個体の利用法」



捕獲した鹿や猪を加工する伊豆市食肉加工センター

### 建設常任委員会

- 8月9日 静岡県島田市  
「中心市街地における再開発事業」  
8月10日 静岡県静岡市  
「中山間地域における移住促進」



市民交流施設「おび・りあ」にて研修（島田市）

## ▶ 議員研修会を開催

### 「地域包括ケアの現状と課題」について学ぶ

10月24日に、淑徳大学の結城康博教授を講師としてお招きし、議員研修会を開催しました。

介護保険制度改正に向け、国においてどのような検討がなされているのか、また、どのような問題点があるのかなど、最新の状況について学ぶことができました。



## ▶ 写真アドバイザー制度を導入

### 議会広報紙写真アドバイザー

時田 宣久 様 中島 優次 様

写真をうまく活用しながら、紙面を充実させていくために、お二人に写真撮影の助言をいただくことになりました。

5月20日に発行された第27号とちぎ市議会だよりから、表紙が全面写真になりましたが、大きな写真は、やはりインパクトがありますね。記事を補足する役目としても、写真は多くのことを伝えることができます。

今回から早速、表紙の写真について助言をいただきました。

どうぞよろしく申し上げます。



# モニターインタビュー No.1

紙面を充実させるためのアンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューする新コーナーです。

第28号のアンケートがモニターの方をお願いする最初の仕事になりました。率直なご意見をありがとうございました。

大きな声では言えませんが、実は、議会だよりを読んだ事がなかったんです。今回、モニターとしてアンケートに答えるために、はじめて読破しました。

はじめての読破でしたか。でも実は、それが狙いなんです。今まで読んでいなかった人にも読んでもらいたい。そのためのアンケートですから。モニターとして適任です。読んでみていかがでしたか？

それぞれの市議会議員さんの思いが少しだけ分かった気がします。一般質問のページを読みながら、この議員さんはこんなことに力を入れているのかなとか。顔写真が載っているから、顔と名前も一致しますし。意外と読みやすかったです。

議会だよりが、みなさまの身近な広報紙に成長するように、これからもご協力をお願いします。



議会広報紙モニター  
藍沢健太郎さん

## 12月定例会の予定 (変更になる場合があります)

日	月	火	水	木	金	土
	29	30	31	1	2	3
					本会議 議案等提案	
4	5	6	7	8	9	10
		本会議 『一般質問』				
11	12	13	14	15	16	17
	常任委員会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)					
18	19	20	21	22	23	24
			本会議 議案等採決			
25	26	27	28	29	30	31

## ぜひ傍聴に お越しく下さい

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、12月1日(木)に新聞折り込みを予定しています。

折り込みチラシ裏面の「一般質問」をチェックしてください。身近な話題があるかもしれません。

興味がわいたらぜひ傍聴に！

9月定例会の傍聴者は・・・116人でした。

### 広報紙発行特別委員会

市民の方の声を編集に反映するために、議会広報紙モニターと写真アドバイザーの制度を取り入れて初めての発行となりました。

モニターの方には前号第28号の議会だよりを読んだ感想やご意見をいただき、写真アドバイザーの方には、主に表紙の写真に対してアドバイスをいただきました。

市議会だよりが市民の皆様と議会との架け橋となれるよう、魅力ある広報紙を目指して参ります。

広報紙モニターの方と写真アドバイザーの方には、今後とも宜しくお願いいたします。

(青木一男 記)

写真アドバイザー	青木一男	副委員長	青木一男	委員長	青木一男
中時	青木一男	針谷	針谷	針谷	針谷
島田	針谷	針谷	針谷	針谷	針谷
優宣	針谷	針谷	針谷	針谷	針谷
次久	針谷	針谷	針谷	針谷	針谷